



—学校・保護者・地域とともに子どもたちの未来を創造する—

# 教育委員会だより

「住むんだったら」「学んだったら」「教えるんだったら」つがる市がいい!

第13号

令和7年5月

つがる市教育委員会

## 教育長 あいさつ

### 未来とは他者である

つがる市教育委員会 教育長 山谷 光 寛



令和7年度が始まり約2か月。

子どもたちが穏やかに、そして充実した毎日を過ごしていることを願っています。

#### ■激動する未来と子どもたち

さて、今年は昭和でいうと100年。悲惨な太平洋戦争が終わって80年になることが世間では話題となっています。私たちが過ごしてきた戦後80年は、他国との紛争や戦争に巻き込まれることのない平和な時代であったといえるでしょう。苦難の時代を過ごされた先人に対して、私たちが穏やかな時代を生きてこられたことを感謝しなければなりません。

一方、子どもたちが生き抜くこれからは、どんな時代となるのでしょうか。

AI（人工知能）や情報通信技術の急速な発達、急速に進む少子高齢化、人口減少、グローバル化、国際紛争の長期化、異常気象等々、ここ20年間だけを見ても、環境の変化は驚くほどの速さで進んでいます。子どもたちが社会人として立ち立つ2030年以降の社会では、さらに急激な変化がみられることが予測されています。

#### ■生きる力を育む教育の必要性

未来とは常に他者であり、突然予測できない事態が発生し、私たちが飲み込もうとしてきました。幸いなことに、私たち大人が過ごしてきた時代は、それまでの経験や知識、技術で未来から降りかかる課題を何とか乗り越えてくることができました。しかし、近い将来には、それらだけでは乗り越えられない時代が到来するとされています。そうした時代を生き抜く子どもたちに身につけてほしい力は何か。それこそが「生きる力」だと考えています。子どもたちには知識を知恵に変える力、予測できない課題に直面しても、それを乗り越え力強く生き抜く力を身につけてほしいと願っています。

#### ■学校・家庭・地域が連携した子どもの育成

そのためには、興味や疑問を喚起する学校での授業、集団生活の中で切磋琢磨し自分の考えを高めること、仲間を思いやり協調できる力、スポーツや文化活動を通じて自分の可能性を発揮すること、学校行事を通して大切な思い出を作ることなどが大事であると考えます。各学校は、予測できない課題を乗り越えるために必要な、子どもたちの「生きる力」を伸ばす場として、日々教職員が多くの工夫を凝らしています。教育委員会も引き続き各校の教育活動を支援し、子どもたちの学校生活が充実したものとなるよう様々な取り組みを進めて参ります。ただし、学校の教育活動だけで子どもたちの力を伸ばすことは難しいのはご承知のことでしょう。地域学校協働活動、コミュニティースクールを中心として、地域全体で子どもたちを支えていくこともお願いいたします。

保護者の皆様、地域の皆様には、是非、各校の教育活動、つがる市教育委員会の取組へのご理解とご支援をいただくとともに、私たち大人が「すべては子どもたちのために」を合言葉に力を合わせて参りましょう。

## 教育委員の紹介



平田 昌子 委員  
(教育長職務代理者)



帯川 圭太 委員



佐藤勢津子 委員



出町 義成 委員



鎌田 常芳 委員

## 今年度の主な取り組み

「未来を担う人と文化を育むまちづくり」を目指して、教育委員会各課の主要事業の中から、主な取り組みを紹介します。

### 教育総務課

- ① 市 HP や教育委員会だより(年3回)を通じて開かれた教育委員会に努めます。
- ② 修繕事業等により学校施設等の改善・整備を図ります。
- ③ 教材備品の整備や GIGA スクール等の通信環境・学習環境の充実を図ります。
- ④ 通学路の安全対策、保護者への経済的支援、スクールサポーターの配置、食育と地元食材の活用により安心安全で豊かな教育活動を推進します。
- ⑤ 学校と地域が一体となった学校づくりの推進により、つがる市型コミュニティ・スクールの充実を図ります。
- ⑥ 5つの中学校区に設置した「つがる市型小中一貫教育校」の取組を支援します。
- ⑦ 教育委員会と学校が一体となって学校における働き方改革を推進します。

### 指導課

- ① 確かな学力の育成のために、各校の教育活動充実に向けた支援をします。
- ② 「つがる市授業づくりのスタンダード」に基づいた授業実践への指導・助言を行います。
- ③ 「グローバル科」「つがる市型郷土学」「キャリア教育」の充実のため、各校を支援します。
- ④ 教職員の資質向上のために、各種研修会を開催します。
- ⑤ 適正な就学のために、特別な支援を要する幼児児童生徒について、調査・検査を行います。
- ⑥ 小・中学校の通級及び巡回指導による通級指導教室において、特別支援教育アドバイザーが学校訪問をして、児童生徒および指導教員や学校への支援を行います。
- ⑦ 教育支援センターを運営し、児童生徒や保護者、学校等からの教育に関する相談に応じます。様々な理由で登校することができない児童生徒への相談や支援活動を行います。

### 社会教育スポーツ課

- ① 子育て支援や支援者の人材育成など家庭教育に関する事業に取り組みます。
- ② 地域と学校が協働で子どもたちを育てていく地域学校協働活動事業に取り組みます。
- ③ キャリア教育の推進や青少年の人材育成等青少年活動の支援に取り組みます。
- ④ 市民講座や公民館各種講座、長寿大学の開講等生涯学習活動の支援に取り組みます。
- ⑤ 市立図書館を活用した各種講座開設及び読書関連事業の実施に取り組みます。
- ⑥ 総合体育館を中心に県外から本市への誘客促進、地域経済の活性化及び観光振興を図るため、「スポーツ合宿補助事業」に取り組みます。
- ⑦ 中学校部活動地域移行推進計画を策定し、又、モデル的に野球クラブを設立し、一歩ずつ地域移行を進め、地域全体でスポーツや文化活動を支える体制作りに取り組みます。

### 文化財課

- ① 遺跡活用団体と連携して、世界文化遺産に登録された亀ヶ岡石器時代遺跡と田小屋野貝塚におけるイベント及びボランティアガイド養成講座やフォーラムを開催します。
- ② 史跡の公有化や整備のための実施設計及びガイダンス施設の基本設計に取り組みます。
- ③ 森田歴史民俗資料館の展示替えを行うとともに、市内資料館の情報発信に努め、学校教育等での多様な活用を推進します。
- ④ 伝統芸能の保存継承を図るため、発表機会の充実とともに保存会の活動や後継者育成の支援に取り組みます。

# 令和7年度がスタートしました



4月7日(月)に市内各小・中学校で、入学式が行われ、令和7年度の教育活動がスタートしました。今年度の小学校新1年生は143人、市内全児童生徒数は1,645人(小学校1,072人、中学校573人、3月3日現在)です。全ての子どもが、健やかに、そして夢に向かってがんばれるように、学校・家庭・地域、教育委員会が連携して取り組んでまいります。

一貫校区分	学校名	校長	教頭	学級数	電話
第1学区 小中一貫 教育校	木造中学校	中島谷正史 (板柳町立小阿弥小学校より)	原倫子 (西北教育事務所 教育課より)	12学級 (内 支援学級2)	42-3250
	向陽小学校	平川公明	出町雄	15学級 (内 支援学級4)	42-2063
	穂波小学校	蒔苗元紹	菊地和恵	8学級 (内 支援学級2)	49-2100
	瑞穂小学校	山舘伸太郎	泉真一郎	9学級 (内 支援学級3)	42-6161
第2学区 小中一貫 教育校	森田中学校	北川一静 (五所川原市立五所川原第一中学校より)	工藤康	5学級 (内 支援学級2)	26-2074
	森田小学校	浅利忠	佐藤昌輝	8学級 (内 支援学級2)	26-3001
第3学区 小中一貫 教育校	柏中学校	蒔苗尚文	長内郁典	7学級 (内 支援学級2)	25-2021
	柏小学校	永原信哉	佐藤典弘	14学級 (内 支援学級3)	25-2001
第4学区 小中一貫 教育校	稲垣中学校	大和克彦	木村大樹 (板柳町立板柳中学校より)	5学級 (内 支援学級2)	46-2022
	稲垣小学校	小枝晃嘉	蒔苗浩正	8学級 (内 支援学級2)	46-2004
第5学区 小中一貫 教育校	車力中学校	梅津知己	番場亜由美	4学級 (内 支援学級1)	56-2023
	車力小学校	佐々木綾子	小坂智則 (八戸市立高館小学校より)	8学級 (内 支援学級2)	56-2004

令和7年4月に「つがる市 学校における働き方改革プラン2.0」を改定しました。

教育委員会は、教職員の長時間勤務の改善と負担軽減に取り組み、本市学校教育の充実に努めます。教職員がワーク・ライフ・バランスのとれた生活を実現し、健康でやりがいを持って学校教育活動に取り組むことで、教職員自身はもちろん、子どもや保護者、地域の方々も笑顔あふれるつがる市の教育の実現を目指します。

# NHK のど自慢がつがる市にやってくる!

つがる市市制施行20周年を記念し、NHK青森放送局とつがる市の主催で「NHKのど自慢」を開催します。”あなたの街の、みんなのステージ”をテーマに、みなさんの歌声を全国に届けます。みなさんのご観覧をお待ちしております。



日時

2025年6月8日(日) 開場:午前11時 開演:午前11時50分  
終演予定:午後1時20分  
【予選会】6月7日(土) 開会:正午  
結果発表:午後5時30分予定(当日発表)

会場

伊藤鉱業アリーナつがる(つがる市総合体育館)

ゲスト



山本譲二



Ourin -王林-

観覧申込は、まだ間に合う!

NHK サイトの専用申込フォームからお申込み下さい。  
【観覧申込締切】5月14日(水) 午後11時59分

※観覧応募多数の場合は、抽選となります。  
※出場申込につきましては、締切となっております。

詳細・申込は、こちらから



左: 亀ヶ岡石器時代遺跡 カイトくん

右: 田小屋野貝塚 タマキちゃん

## つがる市縄文遺跡 PR キャラクター カイトくんとタマキちゃん誕生!

文化財課では市制施行20周年記念事業の一環として、亀ヶ岡石器時代遺跡と田小屋野貝塚の価値や魅力を発信する、つがる市縄文遺跡 PR キャラクターを作成しました。キャラクターデザインは県内在住の漫画家・石塚千尋先生によるものです。

二人の名前は全国より寄せられた多数の候補の中から、市内小中学校、木造高等学校、森田養護学校の児童生徒の投票により「カイトくん」と「タマキちゃん」に決定しました。

つがる市の縄文遺跡の PR をこれから担うこととなる二人を、どうぞよろしくお願いたします!